

Doctor interview

2025.10

当病院で活動されているドクターに、各専門分野での取り組みや、医療への想いを語っていただきます。

総合診療科 医員

vol.25

田中 龍 たなか
りゆう 先生

田中 沙弥子 たなか
さやこ 先生

専門：総合診療科



——2018年のスタートから25回目となる今回のドクターインタビューでは初の試みとして、ご夫婦で総合診療科医である田中龍先生・沙弥子両先生に、一緒にインタビューを受けていただこうと思います。お二人はともに2025年4月に赴任されましたが、以前のご経験などお教えください。

田中龍先生（以下R先生）：私は青森県つがる市、旧木造の出身です。妻は弘前市出身で二人とも津軽出身です。お互いの地域は車で30分くらいと近く弘前大学医学部の同期ですが在学時代は、ほぼ話したことは無かったです。卒業後は二人とも青森県立中央病院で初期研修を行い、そこで出会いました。2年の初期研修を経て、4月から十和田市立中央病院 総合診療科に専攻医としてお世話になっています。

——十和田の印象はいかがですか？



田中沙弥子先生（以下S先生）：この赴任で初めて十和田にきました。まだ冬を経験していないので、大きな違いは感じていません。津軽に比べて雪は降らないですよね。十和田の印象は、コンパクトで、お店や施設など一通り揃っていて住み心地がいいなと感じています。津軽の方に行こうとするとちょっと遠いですが。新幹線の駅や空港がもう少し近いと良いなと思います。

R先生：十和田にきて半年経ちましたが、皆さんにあまり「なまり」がないのに驚きました。

——医師を目指されたきっかけは何でしょう？

R 先生：最初はドラマを見て法医学がやりたいと思い立ちました。それが小5の時です。それを超える「なりたいもの」が現れず、今に至ります。今は法医学ではないですが(笑)。

S 先生：私は母親が病気で病院のお世話になったとき、医師はかっこいいなと。月並みですが(笑)それが志望理由ですね。

——総合診療科を選んだ理由をお教えてください。

R 先生：自分の中で医者＝町医者のイメージで、臓器別に専門を決めてやっていくことも考えていたのですが、この科でやっていこうというものが見つからず、総診（総合診療科）に進もうと考えました。

S 先生：私もそうですね。

——総合診療科の魅力は何ですか？

R 先生：総診の魅力は臓器や病気だけでなく、患者さんに寄り添って《人を診る》というところが一番かなだと思います。また、十和田の総診では嚥下内視鏡検査もやっていて、食事という生きる上で必要不可欠な要素に関わることも魅力かなと思います。



——今後やっていきたいことなどありますか？

R 先生：「家庭医」は視野に入っています。

S 先生：私もです。総合診療医には、大きな病院の中で集まってきた原因特定が難しいような疾患に対して原因を探りながら診療する「病院総合診療医」と、地域の中で開業して患者さんやその家族と関係を築きながら住民の健康を総合的に診ていく「家庭医」があります。「家庭医」は看取り、最期まで全部診るイメージです。

R 先生：総合診療医の中のサブスペ（サブスペシャルティ領域）のような感じですね。例えば消化器内科の中でも、肝臓、胃、など専門が分かれていくと思うのですが、その総診バージョンと言えるかもしれません。

——休日はどのようにすごされていますか？リフレッシュ方法はなんですか？

R 先生：自分は自宅でゲームですね。どちらかというと陰キャです(笑)。

S 先生：家で猫を一匹飼っているんですが、猫と触れ合う時間が癒しですね。

R 先生：保護猫で恐らく血統書はないと思いますが見た目は完全にシャム猫です。

S 先生：男の子で名前はサフィー君。人懐っこくてモフモフで可愛いです(笑)。

——食事も仕事のパワーの源だと思いますが、好きな食べ物、嫌いなものもあれば教えてください。

R先生：好きな食べ物は餃子です。嫌いなのは、生のしゃきしゃきのネギです。煮込まれていれば食べますが…。一度手作り餃子に挑戦しましたが、カチカチな感じになってしまって美味しいなくて…なので買ったもの、冷凍のやつとか食べますね。

S先生：私はナスが好きです。特にナス焼き。焼いて皮をはいで、普通に鰹節とワサビとお醤油をかけて食べる。トロットロでおいしいですよ。嫌いなのはウインナーとかソーセージ、ベーコンなどの加工肉系。あと辛い物も苦手です。



サフィーくん近影

——ご夫婦で同じ職場で良かったこと、悪かったことをお教えてください。

R先生：良かったのが、相談ができる、話が通じやすいというのがありますね。共通の話題として話せる、同じ職種だからと思いますが。

S先生：悪いことは休みがかみ合わない事。なかなか二人一緒に休めないところです。

R先生：家でも仕事の話をしているのは良いのか悪いのか…。

S先生：切り替えが難しいところはありますね。

R先生：それでも、一緒の職場で一緒の職種だからこそ、かみ合うこと、共有できることが多いのは良い所です。

——お互いに伝えたいことはありますか？お互い相手のPRポイントでも…



S先生：うーん…特にないです(笑)。

R先生：伝えたい事？ここでですか？……相手のPRポイントは、ニコニコ笑顔！です(笑)。

S先生：無いって言いにくいよね(笑)。

——最後に市民の皆さんへメッセージをお願いいたします。

R先生：南部地方に来たのは初めてですが、これからまだまだ、こちらでお世話になるつもりでおります。未熟ではありますが、沢山勉強して地域の皆さんの方

になれればと思っています。身体のこと病気のこと、なにかありましたら気軽にご相談ください。

S先生：私も同じです。頑張りますので今後ともどうぞよろしくお願いします。



(2025年10月インタビュー)

資格情報等(両名とも)：BLS プロバイダコース 受講済み、ICLS プロバイダコース 受講済み、嚥下機能評価研修会受講済み、緩和ケア研修会修了